

令和2年6月3日(水)

保護者のみなさま

大和市立大和中学校
校長 藤井 明

今後の生活のお願い

6月1日から分散登校がはじまりました。喜びの一方で、北九州市では学校が再開して間もなく感染者が出て再び休校になったという悲しいニュースも耳にします。待ちに待った学校、期待を膨らまして登校した学校で、このようなことが起こらないためにも、十分な注意を払いながら、少しずつではありますが通常の姿を取り戻していければと考えます。

そのためにも、先日お知らせいたしました「新しい生活スタイル」を推進しながら進めてまいります。

- ①マスクの着用、②手洗い、③人との距離は最低1m、④お互いの思いやりと気遣い

次に、今後の生活のお願いです。

現在、絶対に避けなければならないことは、感染者を出さないことです。

自分を守り、家族を守り、友だちを守ることです。

そのスタンスで考えた場合、それぞれのご家庭も、教職員も、次のことに十分注意して大和中学校へ通う生徒を一緒に守っていきたいと考えております。

- ◆家族も含め、感染リスクの高いところへの出入りは控える。
- ◆体調のすぐれないときは、無理せず休養をとる。
 - ・病院に行き診察してもらうことが望ましいと考えます。
 - ・発熱—回復—発熱（新型コロナ陽性）というパターンも見られます。
熱が下がったから絶対安心ではなく、しばらくの間様子を見ましょう。
- ◆本人以外の同居の家族に風邪症状が見られる場合も、感染予防の趣旨を踏まえ休養することが望ましいです。
- ◆「新しい生活スタイル」を守って生活する。
授業等の中では、マスクを着用しない場合があります。（次は例）
 - 英語の発音などで教員が口の動きを明確にする（その時はフェイスシールド）
 - 体育の授業：十分な距離を取る。（生徒）、熱中症対策（生徒・教員）
- ◆教職員に風邪症状が見られる場合も、感染予防を第一に考え休養にあてるようにします。
- ◆欠席に伴う学習については、個々の事情を踏まえて、対応していきます。
- ◆その他、社会や地域・本校の状況により早急な判断のもと対応を検討してまいります。

*本人・同居家族に風邪症状や発熱、だるさや息苦しさがあるときは自宅休養してください。
また、「お子様の登校を控えさせたい」や「持病や基礎疾患があり心配である」など不安や心配がある場合は、必ず学校へ相談ください。

（休んだ場合は、出席停止扱いとし欠席にはなりません）